



進路だより

第6号 文責：小元 祐孝
令和元年 7月26日
角田高等学校・進路指導部

勝負の夏！！



3年生～夏を制する者は、受験を制する！！～

いよいよ勝負の夏がやってきました。3年生の皆さんは、就職・進学を問わず、しっかりと実力（学力、面接力、作文力）をつけていきましょう。合格を勝ち取るには**具体的な目標設定と詳細な学習計画**が必要です。「〇日までに△口ができるようになる」というように、**具体的に期日と内容を設定することが大切です**。また、教科・科目の学習時間の配分や、学習の柱になる教材（参考書・問題集など）について、教科担当の先生のアドバイスをしっかり聞いて計画を立てましょう。

夏休みの学習時間は、公務員・大学進学希望者は、**最低でも8時間以上**は学習するのが基本です。「8時間も？」と思う人がいるかもしれませんが、学習すべき内容を考えたら8時間でも足りないことに気づくはずです。しかし、この8時間をただがむしゃらに学習するのではなく、「記憶・暗記する時間」と「問題を解いて定着率を確認する時間」を交互に設定したり、得意科目、苦手科目、得意科目の順に学習したりするなど、モチベーションや学習効率が低下しないように工夫しましょう。

就職希望者は、応募前職場見学に積極的に参加し、将来働く会社をじっくり考えましょう。そして、企業の研究をしっかり行い、履歴書の作成や面接練習、一般常識対策に取り組みましょう。

専門学校や4年制大学、短期大学のAO入試を考えている人は、オープンキャンパスに行き、自分が入学したい学校、大学の魅力を再確認してください。エントリーシートの作成、面接練習などを夏休みのうちにしっかり行いましょう。1人で悩まず担任の先生をはじめ信頼できる先生に積極的に相談して準備をすることが合格への近道です。

2年生～文武両立&将来の進路を絞り込み、情報収集をしよう～

部活動、学校行事ともに2年生が中心となる時期です。2年生の皆さんに是非とも実行して欲しいこと、それは「**学習と部活動の両立**」です。部活動に打ち込んで、技術を磨き、精神力・体力を鍛えることはとても大切です。これは、来年の受験勉強にも必ず生かされます。しかし、受験までに残された時間はあと1年しかありません。また、皆さんの大学入試から制度が変わります。進路だより第5号に示したように「大学入学共通テスト」の作成方針が発表される一方で、さまざまな大学においても来年度の新入試について情報が明らかになってきました。この夏は「**情報収集**」と「**基礎固め**」に力を入れてほしいと思います。夏休みを中心に、4年制大学、短期大学、各種専門学校の「オープンキャンパス（学校見学会）」が実施されます。3年生になってからではなく、今年のうちに気になっている学校、大学のオープンキャンパスには必ず参加しましょう。来年の今頃になると、総合型選抜（AO入試）の出願時期になり、進路選択が遅れば、それだけ準備の時間が少なくなるからです。大学か専門学校かで迷っているなら両方に行き、比較することが大切です。学科名が同じでも、学校によってカリキュラムや取得可能な資格、教授の研究内容などが異なります。

◇2021年度（令和3年度）入試の情報収集について

来年度に迫る新入試の情報収集に有効なホームページを紹介します。

【参考になるホームページ】

- ①Kei-Net（河合塾）：新入試の記事について解説が掲載されているほか、各大学のホームページへリンクすることができるので便利である。
- ②パスナビ（旺文社）：入試対策についてのさまざまな情報や、大学・短大・専門学校の情報を調べることができる。「蛍雪時代」に掲載されている記事も会員登録（無料）すると閲覧できる。

1年生～高校での学習の基礎を身につける～

中学校の頃と比べて授業の進度が早く、学習内容が多いため、頭の中で整理されていない部分や、定着できていない部分がたくさんあると思います。どの教科においても、夏休み前に学習した内容は、高校で学ぶことの基礎となります。不十分なままにしておくと、今後学習していく上で取り返しのつかないこととなります。前半の遅れは夏休み以降に持ち越さないようにしましょう。そして、さらに大事なことは、この**4ヶ月で身につけた生活習慣や学習習慣を継続していく**ことです。休日であっても学校がある日と同じように早寝早起きして、毎日決まった時間に勉強をする、それが高校生です。1年生の皆さんも早い時期からオープンキャンパスに参加してみましょう。進路について考えることで、高校生活の目標がさらに具体化され、充実したものになると思います。

◇新入試制度について

進路だよりで何度か情報提供していますが、現2年生から入試制度が大きく変わり、学力の3要素が求められる入試に変わります。

【学力の3要素】

- ①知識・技能（何を理解しているか、何ができるか）
- ②思考力・判断力・表現力（理解していること・できることをどう使うか）
- ③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
（どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか）



新入試では、これらを多面的・総合的に評価することになります。一般入試でも「主体的に学ぶ態度」が評価されることとなります。筆記試験が主体だった一般入試でも調査書や志望理由書・面接などが重視されるようになります。以上のことを踏まえ、1年生の皆さんが今すべきことは、

1. 学習の基礎・基本を定着させる。（学んだことを活用するための基礎を身につける）
2. 日本語で書かれた文章をすばやく正確に理解する力をつける。（読むことに慣れる）
3. 自分の考えをまとめ、根拠や理由とともに表現する力をつける。（書く、発表する）
4. 自分が活動したことを蓄積していき、活動を振り返る習慣をつける。
（活動履歴の蓄積：ポートフォリオの活用）

の4点です。図や表のデータから傾向を読み取る力や膨大な量の文章を読んで正確に理解する力も日々の**学習の基礎・基本**があってこそその力です。基礎・基本を大切にしてください。高校3年間の活動の成果を蓄積していくことは、自分自身の成長を確認するだけでなく、アピールする上で有効です。夏休み明けにポートフォリオの入力をしてもらおうこととなります。できることから始めてみましょう。